

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)ココファン新潟江南 新築工事	
建設地	新潟県新潟市江南区早通四丁目1762番1外12筆	
用途地域	市街化調整区域内	
建物用途	病院,	
竣工年	2022年4月 予定	
敷地面積	3,679.41 m ²	
建築面積	1,201.10 m ²	
延床面積	2,020.90 m ²	
階数	地上2F	
構造	木造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2021年7月16日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{48.5}{47.6} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.0
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.7		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1 2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- サービス付き高齢者向け住宅の設置基準(バリアフリー化)を満たしている。
- 建築基準法の耐震基準を満たしている構造としている。
- 建物周囲に適切な水勾配をとり雨対策を施している。
- 建物周囲に可能な限り緑化地帯を設けている。
- 躯体材料以外でリサイクル材を採用している。
- 建物周囲に可能な限り緑化地帯を設けている。
- 前面の歩行者に圧迫感を与えないよう建物の位置を後退して配置。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE:建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ココファン新潟江南 新築工事	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市江南区早通四丁目1762番1外12筆	構造	木造
用途地域	市街化調整区域内	平均居住人員	85 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,160 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2021年7月16日
敷地面積	3,679 m ²	作成者	関塚宏昌
建築面積	1,201 m ²	確認日	2021年7月20日
延床面積	2,021 m ²	確認者	関塚宏昌



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>エネルギーの高効率化、躯体の耐久性の向上を基本に、標準的な取り組みが行われた計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>界壁・界床の仕様を標準以上とし、F☆☆☆☆以上の内装材を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>居室の天井高を高くすることにより、居住空間の広がりをも高める計画としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物を敷地境界よりできるだけ後退させ、居住空間に圧迫感を持たせない計画としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>住戸内に断熱材を施工する他、住戸に庇を設け、温熱環境に配慮した計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>敷地内に農圃等を設けたり、外構の仕上に舗装部を極力施工しないようにして、敷地内の保水性を高めた計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐車場をできるだけ確保し、かつ建物への主要なアプローチについては、自転車と入り口を別として、駐車場入り口での渋滞緩和に配慮した計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される